

会 議 録 ( 1 )

会議の名称	令和元年度 第1回飯能市立博物館協議会
開催日時	令和元年7月30日 午前10時00分から12時00分
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	加藤栄子
出席委員	伊藤誠 岩崎隆 加藤栄子 栗原慶子 小槻成克 野村正弘 杉田和美 馬場憲一 平良宣子
欠席委員	井上淳治
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	生涯学習・スポーツ部長 益子恵子 博物館長 尾崎泰弘 主査 引間隆文 主任 長谷川裕子 主事 金澤花陽乃

## 会 議 録 ( 2 )

### 議事の概要 (経過) ・決定事項

#### 議事

- (1) 平成30年度事業報告について
  - ・資料1、参考資料に基づいて説明した。
- (2) 令和元年度事業経過と今後の予定について
  - ・資料2に基づいて説明した。
- (3) 当館の施設について
  - ・バックヤードを案内した。
- (4) その他
  - ・館報第15号、研究紀要第1号について説明した。

## 会 議 録 ( 3 )

発言者	発 言 内 容
	午前10時00分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、井上委員からご欠席の連絡をいただいておりますが、飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和元年度第1回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p>
主査	<p>2 任命書交付</p> <p>これより、生涯学習スポーツ部長から4月1日付で岡野民嗣委員に替わり任命されました岩崎隆委員に任命書を交付いたします。 (益子部長より岩崎委員へ任命書の交付)</p>
主査	<p>3 あいさつ</p> <p>それでは開会に際しまして会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>夏本番になり蒸し暑くなってきました。このような環境の中、皆さまご出席いただきありがとうございます。本日も皆さまのご意見をいただきながら会議を進めてまいりたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
主査	<p>続きまして生涯学習スポーツ部長からご挨拶申し上げます。</p>
部長	<p>改めましてこんにちは。おかげさまで昨年度はリニューアル前の平成28年度を大きく上回る入館者数を達成することができました。準備段階から皆さまにご指導いただけたからこそ、このような結果を得ることができののだと思います。心より感謝申し上げます。</p> <p>ただ、展示室のリニューアルはしましたが、施設は平成2年に開館したときのままです。開館から30年が経過し、様々な部分に不具合が出てきています。施設につきましても皆様のご意見をいただきながら、職員も一丸となって博物館を守ってまいりたいと思っています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
主査	<p>ありがとうございました。本日は傍聴希望者がおりませんでしたので、これより議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第15条第1項の規定により、会長をお願いいたします。</p>

<p>会長</p>	<p>4 協議事項  それではしばらくの間、議事の進行を務めさせていただきます。  では早速ですが、議事の「(1) 平成30年度事業報告について」と「(2) 令和元年度の事業報告と今後の予定について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
<p>館長</p>	<p>(1) 平成30年度事業報告について  それでは議題「(1) 平成30年度事業報告について」説明いたします。  (資料1および参考資料に基づいて説明)  3月31日に開催した現地見学会「戦国の中山と「天神様のお祭り」を訪ねて」は市民学芸員(古文書整理型)の活動成果を還元する目的で行ったものです。今年は33年に1度の中山の天神様の御開帳であったため、その日に合わせて開催いたしました。</p>
<p>館長</p>	<p>(2) 令和元年度事業報告と今後の予定について  続けて議題「(2) 令和元年度事業報告と今後の予定について」説明いたします。  (資料2に基づいて説明)  収蔵品展「きつとすクロニクル」では当館の歩みと共に特別展を振り返りました。展示スペース内にフォトスポットを作り、SNS等での投稿を呼びかけました。また、新収蔵品展を同時開催いたしました。  展示ホールで開催していた自然写真展が先週末で終わり、入館者数は33日間で3947人(1日あたり119.6人)でした。  自然講座、自然観察会については担当から報告いたします。</p>
<p>主任</p>	<p>今年度はこれまでに自然講座を1回、自然観察会を2回開催しました。講座は飯能河原の生きものたちをテーマに、埼玉県立川の博物館の藤田宏之氏を講師にお招きして開催しました。参加者は20人でした。観察会は、昨年度刊行した植物のガイドブックに沿ったものと、飯能河原の生きもの調査を実施し、参加者はそれぞれ12人と8人でした。</p>
<p>館長</p>	<p>続いて今年度の特別展「飯能の名宝」について担当から報告いたします。</p>
<p>主査</p>	<p>今年度は開館30年を記念して、市内にある県指定文化財を中心とした展示を開催いたします。川寺大光寺の虚空蔵菩薩、高山不動の七夕不動、下名栗諏訪神社の獅子頭など、様々な文化財を展示する予定です。また、ただ文化財を展示するだけではなく、飯能市における文化財指定のあゆみもわかるようにします。なお、本展は記念物100年参加事業であり、同事業のパネル展も同時開催いたします。さらに beyond 2020 プログラムにも参加して</p>

館長	<p>おります。</p> <p>展示期間中は関連講座、現地見学会、ギャラリートークなども行います。</p> <p>続いて夏休み子ども歴史教室について担当から報告いたします。</p>
主事	<p>今年度は、「古文書に挑戦」と題し、くずし字をテーマにした歴史教室を開催します。定員16人で募集し、先週末で申し込みが定員に達しました。</p>
館長	<p>駿河台大学野村ゼミナール展示については、野村委員から補足説明をしていただけますでしょうか。</p>
委員	<p>今年度は4年生のゼミ生がいないため、展示はほぼ私が作りました。飯能が絹織物で栄えたということもあり、着物をテーマにした展示としました。着物をもっと自由に、気軽に着てもらいたい、着物文化をもっと世界へ広めたい、という狙いで展示をつくりました。</p> <p>飯能大島紬を展示したところ、「知らなかった」「こんなにいいものがあったなんて」との声が来館者の方から聞かれました。今の人は飯能大島紬のことをもう知らないのだ、ということがわかりました。</p>
議長	<p>着物をテーマとした展示ということで、西川材だけではない女性的な産業も取り上げてもらえてよかったと思います。</p> <p>まずは平成30年度の事業について、何か質問やご意見などございますか。</p>
委員	<p>特別展「吾野」の入館者数が増えたというのは、やはり人の興味がどこにあるのかが顕在化したものだと思います。吾野の人は地元愛が強く、それは名栗も同じです。今年度の特別展では下名栗の諏訪神社の獅子頭を展示予定とのことですが、名栗にとって諏訪神社はとても大きい存在です。アピールの仕方によっては、今年度もかなり多くの人に来るのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>吾野の展示では、親戚の家について展示の中で知る事が出来て良かったです。現在住んでいる人でも地域について知らないことはあるので、そういうことを知ることができたのが良かったです。</p>
議長	<p>展示を見て、現地に赴いてもらうという流れができると良いと思います。下名栗の諏訪神社の造りも本物を見るとより素晴らしさを感じます。</p> <p>それでは令和元年度の事業報告とも併せてなにかご質問やご意見はございますか。</p>
委員	<p>入館者数について見てみると、今年度は入館者数が大幅に減っていますよね。これについて何か分析などはされていますか。</p>

館長	<p>まだ分析はできていませんが、昨年の4月はオープン直後で比較できないとして、5月は例年並みの人数が入っています。しかし、6月の入館者数が伸びませんでした。7月の結果はまだ出ていませんが、盛り返してきてはいます。</p>
委員	<p>リニューアルオープンの次の年に減るのは必然だと思いますが、昨年で考えれば吾野の展示はどのような客層だったのでしょうか。</p>
主事	<p>リピーターと団体見学は、吾野の方が多かったです。アンケートの結果では、来館者における市内在住者の割合は例年並みでしたが、実際にいらしている方を見た印象では吾野の方々が多かったように感じました。</p>
委員	<p>吾野の展示は、みんなが楽しみにしていた企画でした。小学校統合のタイミング、という話題性もありました。私のいた学校では、児童が学校の見学会で見に行き、そこでおばあちゃんが写っている写真が展示されているのを見つけ、家族を連れてもう一度見に行った、という事例もありました。展示の準備期間に、学芸員が地域を回っていたのも良かったと思います。</p>
館長	<p>今年度は入館者数減少の対策として、2つの展示を同時並行で行う、という試みをしています。学習活動も増やして、人数増加を目指しています。</p>
委員	<p>入館者数のカウントはどのように行っているのでしょうか。</p>
館長	<p>入口のセンサーで行っています。センサーは多人数が一度に通過すると正確にカウントしないため、団体見学があった場合はその人数を足しています。</p>
委員	<p>自然写真展の入館者数でいうと、展示そのものを見に来た人数は不明で、展示期間内の入館者数を記録しているということでしょうか。</p>
館長	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>6月と7月に開催した自然観察会は参加者が少なめだったようですが、何か原因はあるのでしょうか。</p>
主任	<p>6月22日の観察会については、延期に伴い参加できなくなった人がいました。順延が決まる前は、20名定員に対して15人の応募がありました。 7月の観察会については、広報不足が原因でした。写真展の準備が終わるまで観察会の準備ができず、周知が遅れてしまいました。また、参加者への持物の要求が多かったため、参加しづらいと感じさせてしまったのかもしれ</p>

委員	<p>ません。</p> <p>忙しい中で展示も広報もとなると、かなり大変だと思います。これは以前から言われてきた学芸員の負担、というものが表面化してしまった事例ではないでしょうか。広報については、文化新聞や飯能ケーブルテレビなどのメディアへ取材をよびかけるのも良いかもしれません。</p>
委員	<p>文化新聞で連載されていた植物の記事について、写真が白黒で色味がわからないため、色の説明を添えると良いのではないかと、という意見を周りで聞きました。また、展示へ誘うような文章が記事に組み込まれていたら良かったと思います。</p> <p>子ども向けのイベントについては、小中学校もそうですが、保育園や幼稚園向けにもPRをかけてはいかがでしょうか。今の子どもたちは色々なことをよく知っていますし、小さい頃から博物館のファンを作っておくのもよいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>自然観察会は、子ども向けのものだけではなく大人向けのものも開催してみたら良いのではないのでしょうか。それとも大人は博物館の事業よりもエコツアーに行ってしまうのでしょうか。エコツアーで大人を対象としたハコメガネ作りなどを開催していますが、みなさん夢中になって作っています。</p>
主任	<p>6月の観察会では大人も募集しました。7月の観察会は、夏休みの自由研究のヒントにしたかったということもあり、子ども向けとしました。小学生の参加者は保護者同伴を条件にしたのも、人数が少ない原因だったと思います。今後検討していきたいです。</p>
委員	<p>展示のPRについて質問です。今度行う鉄道の展示はファンが多いと思いますが、西武線内で広報などは行えるのでしょうか。</p>
館長	<p>今回の展示については、西武鉄道に広報の依頼をしています。しかし、駅での掲示は基本的に管区での判断ができないとのことで、ポスターの掲示も難しいです。基本的に料金がかかる、というのが西武のスタンスです。特別展「武蔵野鉄道開通」の時には駅張りサイズの大きなポスターも作りましたが、飯能駅には最後まで貼ってもらえませんでした。</p>
委員	<p>飯能市は大きいので、旧村の意識が強いのではないのでしょうか。したがって今年度開催する名宝展についても、「地区の名宝」「おらが村の宝」を前面に出したアピールのしかたもあるのではないのでしょうか。</p> <p>先ほど自然観察会の話の中で出ていたように、忙しくて十分な広報ができないという現状があるのなら、展示やイベントの担当と広報担当を分けるの</p>

委員	<p>も1つの手だと思えます。</p> <p>また子ども向けの広報について、毛呂山町の場合A3サイズ両面刷りで「夏休み体験マガジン」というものを作り、様々な課や館で行うイベントの情報を掲載して配布しています。</p> <p>人手とお金の問題もあるとは思いますが、植物や鉄道などのPRを多角的におこなってみてはいかがでしょうか。名宝展については、寺社の檀家さん、氏子さんたちに招待状を送ってみたりしてはいかがでしょうか。</p>
議長	<p>他に何かある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>名栗の燻蒸についてですが、使われているブンガノンは魚類、水生生物への毒性が強いものです。本当に毎年行う必要はあるのでしょうか。まず環境を調査してから行うべきではないでしょうか。また、ブンガノンはカビには効きません。調査を続けて、虫の被害が出たら殺虫する、という方向に変えた方が良いのではないのでしょうか。</p>
館長	<p>名栗の民俗資料保管庫は、収蔵スペースの中でも最も目が届いていないところで、環境調査もできていないのが実態です。</p>
委員	<p>場合によっては、ブンガノンではなくもう少し環境への悪影響が無い物に変えても良いのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>他に何かご意見あるかたはいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
議長	<p>特になければ(3)当館の施設について のバックヤード見学へ参りたいと思います。</p> <p>(3)当館の施設について バックヤード(整理室、収蔵庫)を見学。</p>
議長	<p>バックヤード見学についてご意見・質問などありますでしょうか。</p>
委員	<p>一般収蔵庫の切れた蛍光灯は取ってしまった方が良くと思います。古くなると上から降ってくる可能性があります。</p>
委員	<p>考古資料を博物館で利用する場合は、どのような形をとるのでしょうか。</p>



館長	文化財担当から借りてくる場合もありますが、基本的には文化財担当で対応してもらっています。
委員	考古資料の目録はどうなっているのですか。
主査	基本的にはどこに何があるのかわかるように、台帳にしてあります。
委員	民俗資料は基本的に受け入れるのでしょうか。断る場合もあるのでしょうか。
館長	資料の収集基準があるので、それに基づいて受け入れの可否を決めています。
委員	収蔵庫に自然関係の資料は入ってくるのでしょうか。
館長	自然の分野はデジタルセンターのため、資料の収集を行わないことにしています。したがって自然の資料は原則受け入れません。
委員	収蔵スペースが足りないとのことですが、具体的に市内のどこの施設を借りるなどという話には至っているのでしょうか。
館長	まだそこまで至っていません。
委員	館のデータはどのように管理しているのですか。
館長	当館のデータは1台のパソコンに集約しています。
委員	ぜひデータのバックアップはこまめにとってほしいです。ハードディスクの寿命は5年と言われています。自分の場合は3セット取り、1つは館外に保管していました。ただ、現代においては一番安全なのはクラウドだと思います。
委員	写真のフィルムはどうなっているのですか。
館長	特別収蔵庫にあります。多くはデジタル化されていて、利用もデジタルデータが原則です。
委員	古文書は現物ですか。マイクロフィルムなどは無いのでしょうか。
館長	マイクロフィルムは取っていません。現物を閲覧していただいています。

委員	資料は基本的に公開されるのでしょうか。
館長	資料利用という形で公開しています。
委員	刊行された目録以外に、公開している目録は無いのですか。
館長	ありません。
委員	飯能の織物の資料については、湿度が一番心配です。私の所も以前空調が壊れて、部屋ごとにつけ直しました。新しくしたら燃費がすごくよくなって、かえってランニングコストがかからなくなりました。
委員	収蔵資料については、教員も知らないことが多いです。現在副読本の編集委員会で、学校の教科の中で博物館に誘う要素を話し合っています。社会科以外のところでも博物館や博物館の資料を使えるようになると思っています。その辺の周知やPRをしていけたら良いのではないのでしょうか。
議長	設備とお金がいろいろかかる部分もあるとは思いますが、やはり人間の力は大きいです。協議会としても協力していけたらと思います。
委員	バックヤードを見ながら、自分の家の蔵の中を見ているようでした。収蔵庫のスペースに問題があるのなら、資料の中身を精査しても良いのかな、とは感じました。
委員	市内に空き教室はあるのでしょうか。小学校に教育資料室のようなものを設けて展示するということはできませんか。
館長	学校には、司書教諭はいますが学芸教諭はいません。したがって、展示を作るのは難しいと思います。また、部屋の作り方からして博物館とは違うので、同じように保存するのは中々難しいと思います。
議長	他に何か質疑等はございますか。  (なしの声あり)
議長	なしと認めます。それでは(4)その他に進みたいと思います。では事務局からお願いします。
館長	(4) その他 それでは当館刊行物の『郷土館のプロフィール』と『研究紀要』の最新号

<p>議長</p> <p>議長</p> <p>主査</p> <p>主査</p> <p>主査</p>	<p>についてご説明します。          刊行物について、実物を開きながら説明。</p> <p>ご質問などある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p> <p>なしと認めます。以上で、本日予定した議事につきましては、全て終了いたしました。進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>5 その他          事務局からは特にありませんが、何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p> <p>特に無いようですので「5その他」は以上といたします。</p> <p>6 閉 会          以上で、令和元年度第1回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">午前12時00分 閉会</p>
<p>議事のでん末、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p>	